

令和7年2月28日

中標津町議会議長 後藤 一 男 様

中標津町議会議員 佐野 弥奈美

研 修 報 告 書

以下の視察（研修）について、次のとおり報告します。

- 1 視察名 総務経済常任委員会道内視察
- 2 視察先 中札内村役場
- 3 視察日 令和7年2月3日（月）
- 4 視察事項 ふるさと納税
- 5 成果（具体的に）

中間事業者にワンストップ申請受付、受領書の発行以外の業務を委託、業者は実績重視で決定したそうです。

役場職員だけでは担当者が異動することにより事業が止まることを防ぐ意味もあるそうです。

業務委託に移行したことにより業務内容が統一され、返礼品開発などお互いに協力しており、広報での返礼品募集、道の駅で情報収集など、既存業者にも提案を頂くなど幅広く開発に努めています。

また、返礼品の画像の加工や寄附者に対して町長からの手書きメッセージなど細やかな心遣いを心掛けていて、リピート率の向上にもなっています。

ふるさと納税クラウドファンディングは関係人口の増大や寄附増加の要因が大きい。

クラウドファンディングは事業所に対して、マイナスではないので増やして行っていると思っているそうです。

中標津町においても返礼品に対するこまやかな心遣いはできると思います。

寄附を行う人の中にはネットショッピング感覚で返礼品を選ぶと思いますが、その中に手書きの一言が入っているだけでもリピートにつながる可能性はゼロではないと思います。

ふるさと納税クラウドファンディングは中標津の企業にとっても有意義であると思われますし、新たな企業にもつながっていくと思います。

寄附者と地方の関係性を強くし、返礼品目的ではない中札内村のファンを増やすことができるという一文がありました。

中標津ファンを増やすためにも必要だと思います。

4 視察事項 地域おこし協力隊インターン制度

5 成果（具体的に）

地域協力おこし協力隊インターン制度は2週間から3か月で行うものではあるが、中札内村では6か月まで拡大し、進学等で村を離れている学生も想定している。

ただ、これに該当する場合は特別交付税の対象にはならず村の負担となる。

エントリーシート受付からオンライン面談を経て採用、勤務となります。

任務終了後は再度村を訪問されたりふるさと納税をしてくれる方もいて関係人口の増加、知名度向上、Uターンにもつながっている。

中札内村では、村を知ってもらう、村での暮らしを体験してもらうことに重きを置いており、応募者の本人の意向をくみ取り、希望に沿うような形で勤務先を決定しています。

大学生の応募が多いのでわかりやすい文章、目を引きやすい画像などSNSでの定期的な更新も行っています。

中標津においても若い人に知ってもらえる、Uターンにつながるのであれば人口減少対策にもつながると思いました。

2 視察先 芽室町役場（Zoom）

3 視察日 令和7年2月4日（火）

4 視察事項 ふるさと納税

5 成果（具体的に）

寄附額の増額に7項目の取り組みをした成果と分析

1. プランの再確認と運用体制の見直しにより役割、業務の明確化
2. 中間事業者、観光物産協会と連携しながら事業者への情報交換と共有。
毎月、目標とその月の戦略を共有目的としたふるさと納税定例会を開催。
地元の原材料を使っているような業者をリストアップして開拓交渉を行っている。
業者会議などにより、信頼関係が築ける。
3. 新規返礼品の増加と在庫の確保
4. ポータルサイトの増加

5. 民間活力の活用とサイトページの魅力化
6. 強力な広告と継続した魅力発信
7. 特産品のキラークンテンツ化

広報では電子版だけではなく紙媒体で、町長や、担当職員、生産者などの顔を見せることで、町への親近感を持っていただけるような政策。

中間事業者を利用することにより、商品やサイトの見栄えが良くなり、ほかの自治体の状況などのアドバイスも頂ける。

常に事業者ファーストを心掛けている。

中間事業者、行政、事業所が一体となって進めている印象を強く受けました。

もともと芽室町を含めた十勝は一つにまとまっている感じがしていたので、なおさら感じたのかもしれませんが。

行政も横のつながりを大事にして全庁で考えているのも素晴らしいと思います。

中標津町も近隣町村とコラボなどを考えていくのもありかなと思いました。

4 視察事項 地域活性化起業人

5 成果（具体的に）

町の駅サポート、返礼事業者開拓などふるさとプロジェクトと連携し活動されています。

また、地域の人たちとのつながりも大事にしています。

経済活性化や観光分散化など幅広く活動されています。

中標津町でも今年から一名着任されていますが、幅広い活動を期待しています。

2 視察先 音更町 北海道動物愛護センター道東センター 一般社団法人 ティアハイム十勝

3 視察日 令和7年2月5日（水）

4 視察事項 動物愛護

5 成果（具体的に）

前日に行く予定が大雪のために変更になりご迷惑をおかけしました。

野犬対策ということで、北海道管理の動物愛護センターと振興局でお話を聞くはずでしたが、北海道が管理のサテライトセンターであるため色々な制約がある中での活動と

いうことでした。

野犬に関しては保護していないとのことでした。

中標津町では、野犬を捕獲してもなかなか保護を受け入れていただけない状況をどのように解決していけばよいのか考えていかなければならない問題だと改めて感じました。

- 2 視察先 弟子屈町役場
- 3 視察日 令和7年2月5日（水）
- 4 視察事項 ふるさと納税
- 5 成果（具体的に）

町内に水産会社があるので海鮮がメインと思っていましたが、温泉熱を利用したフルーツも返礼品となっています。

また、移住された方の手作り作品（ゴルフクラブやアクセサリなど）も返礼品に取り入れられています。

新規返礼品を年3回募集し、返礼品のリニューアルを行い、事業者へ返礼品の提案も行っています。

青年団体が立ち上げたタウンラボに特産品開発を委託しています。

また、サイトに掲載の写真は事業者が行いその時期のニーズに合ったものを掲載、発送は第三セクターに依頼しています。

返礼品の種類を増やす取り組み、掲載サイトを増やし窓口拡張の取り組み、地元水産会社の倉庫を利用し返礼品が早く届く、日時を指定できる発送に取り組んでいます。

中標津町でも返礼品の新規開発を行っていますが、広く各団体の意見も取り入れるのも良いかなと思いました。